
願い

春日井李蘭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
願い

【コード】
N6895I

【作者名】
春日井李蘭

【あらすじ】
蘭が新一を思う気持ちです。

どうしたらいいの？

自分の気持ちが揺らぐ

弱虫な私を君はどう思うかと不安でしかたない

君を信頼しているはずなのに

私の知らない君を知るのが怖い

お願いだから

君の気持ちが僕に向かないのなら

すべてを見透かしてしまいそうな

その瞳に私を映さないで…

君の瞳映る私をみるのが嫌だから…

優しい笑顔で微笑まないで

君の笑顔が

私以外の人に向くのであれば

お願いだから…

君の全てを私に見せないで

これ以上君を思うことが許されないのであれば…

君が私のことを思っているという保障はない

君が私のことを思っていないという保障もない

どっちなのかな…

どれだけ大好きでも分からない事だらけ…

私の知らない君はもっとたくさんいるんだろうね…

どうしたら君を幸せにできるのかな？

私じゃ君を幸せに出来ない気がして

もう泣くのは今日限り

そう思いながら何度泣いただろう

もう泣くのは嫌なのに…

何でこんなにあふれてくるんだろう？

この涙は一体

誰のために

何のために

何を思っ

この旅行方はどこなのだろうか？

どうせなら私の思いも

どこか遠い運河に連れて行ってくれないかな？

君を思う気持ちさえも

流してしまえば

君を見る必要も

君を思う必要もなくなるのに…

(後書き)

ご意見、ご感想おまちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6895i/>

願い

2010年10月11日00時36分発行